

生命工学特別講義（1単位）のお知らせ

テーマ： 生物化学工学的視座に立脚し不均質系バイオプロセスの課題に取り組む ―抗菌殺菌から再生医療まで―

講師： 田谷 正仁（大阪大学大学院基礎工学研究科 教授）

授業の目的：

生命や生物に関する発見や技術の恩恵を多くの人々が享受するためには化学工学的な考え方が重要です。この講義で少しでもそのことを伝えたいと思います。

授業の概要：

生物化学工学はペニシリンの大量生産を契機として、1960年代に体系化された比較的新しい学問分野であり、その後の醗酵工業やバイオテクノロジーの発展を支える重要な基礎となってきた。ただし、取り扱う対象としては均一な細胞集団としての微生物の懸濁システムが中心であった。本講義では、私たちが取り組んできた不均一/不均質なバイオプロセスの重要性や意義を説明し、従来の生物化学工学の考え方を基礎としつつ、新たな視点からのアプローチについて紹介したい。

授業の進め方： 講義とレポート提出

対象： 大学院生（学部4年生の聴講も認めますが学部講義を欠席した場合の特別処置はありません）

日時： 8月2日(水) 13:00-17:30
8月3日(木) 10:00-12:00
13:00-16:00

場所： 伊都地区：ウエスト1号館D棟2階 D-208 講義室
箱崎地区：システム生命科学府棟1階セミナー室1・2
馬出地区：ウエストウイング7F 講義室A

* 受講希望者は7月28日(金)までに、システム生命科学府事務室（ウエスト1号館B棟3階B-306号室）に申し込むこと。(sls-jimu@sci.kyushu-u.ac.jp)